



ひ た よ ろ う た ん

第4回定例会	2
12月2日から8日までの7日間	
第5回臨時会	6
一般質問 ここが聞きたい (12人)	8
委員会活動報告	14
各委員会の活動方針を決定	
議員研修報告	15
一般会議を開催	15
町のこの人あの人	16

大井町に転入し露地栽培で新規就農

おか とよし
岡 豊司さん



元気いっぱい！ どんど焼き

E-mail gikai@town.oi.kanagawa.jp / URL <http://www.town.oi.kanagawa.jp/gikai/>

この広報は、再生紙を使用しています。

第6次総合計画を議決

今後10年間の基本構想が定まる

総合計画

大井町第6次総合計画
(賛成12・反対1)

令和2年第4回定例会は12月2日から8日までの7日間の会期で開催されました。令和3年度からスタートする第6次総合計画をはじめ、条例、補正予算などの審議を行いました。

一般質問には12人の議員が登壇し、町の考えを質しました。

専決処分の承認

大井町職員の給料に関する条例の一部を改正する条例（賛成11・反対2）

*令和2年度人事院勧告に基づく国家公務員の給与と改定に伴い、職員の12月期賞与について減額措置を行うもの。

問 なぜ専決処分にしたのか。議会を招集して臨時会をするべきではないか。

答 今回は減額と言う事もあったので専決とさせていた。今後は臨時会を開くように心がける。

*町の総合的かつ計画的な行政運営をより一層増進させるため、大井町自治基本条例及び大井町議会基本条例の規定に基づき、議会の議決を得るもの。

問 外部評価に切り替えて毎年見直していくと言っているが具体的にどのように見直していくのか。

答 令和4年度から評価していく。外部評価については本年度から試行で入れている。そして施策別でも評価をしていく。

問 「まちづくりの方向性」ここに大切なものがあり外から見た大井町の良さ、そして大井町をもっと知ってもらおう事が必要ではないか。

答 シティープロモーションでアンケートを取

り、まちづくり会議では町内在住者やそれ以外の方からも意見をもらっている。

問 満足度の低い公共交通に対する目標値が現状と5年後とあまり変わっていないが。

答 実施計画のなかで細かく対応し持続可能な公共交通をつくりあげていく。

問 第5次総合計画の評価、総括は行ったのか。

答 概ね計画通り進んでいると評価している。

問 コロナ禍で説明会を開けないとあったが周知方法は。

答 広報で特集ページなどを用いて周知をし、意見を聞いている。計画そのものについては、まちづくり会議やアンケートなどを実施している。



条例

大井町議会議員及び大井町長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例
(賛成全員)

*町村の議会議員及び町村長の選挙における選挙運動の公費負担の対象拡大が図られたことに伴い、公費負担の範囲等を定める必要があるため条例を制定するもの。

企画経済常任委員会

この議案は、企画経済常任委員会に付託され、12月7日に委員会を開催し、詳細な審査を行った。その結果、賛成全員で「原案どおり可決すべきもの」と決した。

問 無投票選挙の場合、選挙運動用自動車の使用は、告示日の一日分が公費負担か。また既に印刷したピラは、公費負担となるのか。

答 自動車の使用につい

ては、告示日の一日分は公費負担となる。ピラについても既に印刷済みの分は、公費負担となる。

問 業者等と交わす契約書等の様式については、統一したものを定めるのか。

答 申請様式等については、規程で定める予定である。来年3月の選挙管理委員会で決定したい。

問 契約した相手方に対しての支払い方法は。

答 契約相手からの請求により、町が直接支払いをする。

問 制度を分かりやすくした手引きなどを作成する予定は。

答 選挙の説明会時には、分かりやすい資料を用意したい。



第6次総合計画

✿ 反対討論 ✿

大石 舞

第6次総合計画案について、以下の点から反対する。
 一、「鉄道・バス路線網」整備。町民要望が多いので、計画の中心課題として取り組む姿勢がさらに表れた記述にすべきと考える。
 二、待機児童問題について。幼稚園・学校のあり方検討会など、住民の意見を踏まえて対応を検討すると答弁された。民間誘致ありきでなく、問題の早期解決のため、公立保育園の拡充も視野に入れた方針を求める。
 三、防災について。「自助・共助・公助」とあるが、酒匂川流域沿いの整備をはじめ、公的機関しかできない役割を中心に方針化されるべきと考える。
 四、マイナンバー制度活用。情報漏洩の観点から、普及率向上に慎重になるべきと考える。

✿ 賛成討論 ✿

牧野 一仁

第6次総合計画に賛成の立場から討論する。今回の第6次総合計画は第5次総合計画と比べ町民との協働、また町民が目を向けて行政を監視できる情報公開というところが大きく違っている。
 公共交通の課題や、防災対策等、町の状況を鑑みると全体的に網羅できていると考える。基本構想としては一定の評価をし、納得できるものと考え賛成討論とする。

鈴木 武夫

第6次総合計画に賛成の立場から討論する。今回の第6次総合計画は町の将来を決める大事な計画である。
 総合計画の進捗管理としてPDCAサイクルの実施、また進捗情報の公開、外部評価の実施等について大変評価をする。
 町民、行政、議会が一体となり「みんなでつなごう！大井の未来」に向かって職員も一丸となり取り組んでほしいと述べ賛成討論とする。

大井町税条例の一部を改正する条例
 (賛成全員)

* 地方税法の一部を改正する法律の施行に伴い、固定資産税の課税標準額の特例や個人均等割の非課税基準の見直しなど所要の改正をするもの。

大井町諸収入金に対する督促料及び延滞金徴収条例及び大井町後期高齢者医療に関する条例の一部を改正する条例
 (賛成全員)

* 地方税法等の一部改正により、条例の規定を整備する必要が生じたため、所要の改正を行うもの。

大井町国民健康保険税条例の一部を改正する条例
 (賛成全員)

* 地方税法等の一部改正により、国民健康保険税の軽減判定所得基準の見直し等、所要の改正を行うもの。

軽減の対象世帯数に影響額は。
 給料、公的年金所得

以外の方が軽減の対象で24世帯、金額は66万8千円である。

大井町道路占用料徴収条例の一部を改正する条例
 (賛成全員)

* 道路占用料は、固定資産評価額等を基礎として算出しているが、近年の社会変動を鑑み、占用者に対して適正かつ公平な負担を図るため、所要の改正を行うもの。

軽減措置が該当する場合とは。
 占用料が、前年度対比で1.2倍を超えた場合である。

この条例は全て町道を指しているのか。
 道路法に基づく道路すなわち認定した町道を示している。

大井町下水道条例の一部を改正する条例
 (賛成全員)

* 水質規制における規制の一部を緩和することについて所要の改正を行うもの。

水質の心配は無いと
 考えてよいか。

設置当初の総合流入に対して下水道の普及に伴い、流量が増え水質が希釈されるので規制を緩和する。

規約の変更

足柄上衛生組合規約の変更について
 (賛成全員)

* 介護認定審査会の審査事務を足柄上衛生組合から南足柄市に移管したく、規定により議決を求めるもの。



指定管理者の指定期間の変更

大井町山田総合グラウンド指定管理者の指定期間の変更について
(賛成12・反対1)

*山田総合グラウンドの指定管理者の指定期間の変更をしたいので、規定により議決を求めるもの。

問 本来プロポーザルをやってみて応募が無いなら考える事ではないか。

答 延長する理由としてはコロナの影響が一つあり来年度の状況も不透明な中、選定委員の意見を聞き決定した。それに当たっては国や近隣の状況等を勘案し判断した。

*プロポーザル(プロポーザル方式)とは。

価格のみによる競争入札に適さないと認められる事業において、条件を満たす事業者から提案された企画提案書を審査・評価し、総合的な見地から判断して最適な事業者を特定する方式のこと。

問 利用状況は。
答 4月8日から5月26日まで49日間は、緊急事態宣言の関係で施設を休場している。10月までの利用状況は前年度対比テニスコート91.8%、グラウンド50.9%である。

補正予算

一般会計

(第7号)(賛成全員)

*歳入は、町税等の減額、各種補助金や見込み額を計上、歳出は職員及び会計年度任用職員の給与費関連、新型コロナウイルス感染症に伴う事業中止や緊急性のある事業に関する経費を計上するもの。

問 保健福祉センターの電話料金が29万円増額の理由は。
答 新型コロナウイルス感染症により、事業中止の連絡や電話での相談が増えた。半年で36%増となっている。

問 公園のベンチ修繕費は、何脚でこのものか。
答 相模金子公園、金子児童公園それぞれ3脚分。

問 ナラ枯れ対策費は、何本分か。ゆめの里以外の対策は。
答 おおいゆめの里のクヌギ・コナラ24本分。虫の飛散を防ぐシートを巻く。民有林については、倒木の恐れのある場所について、地権者に対策をお願いしている。

問 ほほえみハウスの床張り替え以外に、空調設備、雨漏りの整備予定はあるか。
答 空調・雨漏りについても今後検討する。

問 防犯カメラ、アース工事はどこに何か所設置か。
答 4か所の信号柱に設置する。防犯コンシェルジュに現地を見てもらったうえで、防犯効果が高い所を選定した。

問 PCB含有調査について、現状は。処分状況は。
答 古い変電設備について、相和小学校と、湘光中学校ナイター用設備について調査する。処分は高濃度のものはないため、低濃度のみ。

問 山田総合グラウンドの修繕料は、どこに使われたか。軽微な修繕は指定管理者ではないか。



おおいゆめの里内でもナラ枯れが進む

問 農地集積・集約化対策推進交付金の、充当先はどこか。
答 会計年度任用職員の人件費、意向調査の郵送料に充てた。

問 多目的グラウンドの浄化槽の漏水修理に使用したのは10万円を超えるものは町で負担する。
答 9月現在は24人。基本本チェックリストの該当者。傾向としては増加している。事業拡大していきたい。

国民健康保険特別会計

(第3号)(賛成全員)

*職員異動と給与改定により、16万7千円を減額計上するもの。

水道事業会計

(第1号)(賛成全員)

*給与改定及び職員の異動等に伴う給料及び手当等の差額分、過年度損益修正損を計上するもの。

後期高齢者医療特別会計

(第2号)(賛成全員)

*税制改正に伴うシステム改修費に56万1千円を追加計上するもの。

介護保険特別会計

(第2号)(賛成全員)

*歳入は職員給与費における一般会計繰入金が増額、歳出は職員の給与改定に伴う増額、通所型サービス事業の追加及び増加に伴う増減額を計上。歳入歳出それぞれ234万2千円を追加するもの。



第4回定例会

公共下水道事業会計

(第1号)賛成全員

*給与改定及び職員異動等に伴う給与、手当、各種引当金等の差額を計上、固定資産等を補正。光熱水費の不足分、過年度損益修正益、過年度損益修正損を計上するもの。

問 今年度は赤字になるのか。

答 今後固定資産が計上され、会計上の問題ではあるが、マイナス3000万円でキャッシュフローは今後の検討課題。修繕費の抑制など含めてバランスをとらなければいけない。

問 未収金の回収状況は。
答 今年度の未回収は36万8千円で例年どおり。未収金は3月調定分を翌年に繰り越す。全体で2426万9千円。水道と一緒に給水停止など行い減ってきているが、未収分は貸倒引当金にまわる。



整備が進む (仮)大井中央公園

工事請負契約の変更

(仮)大井中央公園整備
工事

(賛成全員)

*令和2年7月20日議案第49号により議決を得た契約内容に変更が生じたため、請負金額の変更をするもの。

問 休憩所は、相当な規模の建屋になるのか。空調設備などは完備されるのか。

答 およそ1000㎡の面積。事務室が一室あり、エアコンの配備も見込んでいる。

問 当初の1.4倍の残土になったが、再発防止策は。工期の遅れ、追加で余分にかかった費用はないか。

答 委託業者の計上漏れ。納品、発注の際の確認不足が原因。今後は他の技師などと共に入念にチェックを行う。工期の遅れはなく、余分な追加費用もない。

問 今ある残土を、場内処理できないか。業者からその申し出や検討はあったか。

答 設計した上で、全体としては不要な土のため排出する。排水等の変更にもなるため、地盤高の変更は難しい。

問 照明灯を2基変更にとどめた根拠は。今後2基をどのように活用するのか。

答 1基100万円通常照明の倍かかり、予算上の問題もある。トイレと防災倉庫付近に1基ずつ設置し、設備を使いやすいように設置する。

問 追加工事分を新規入札はできなかったのか。1800万円は妥当か。

答 一般管理費や工期のスケジュールを考えれば、別契約よりも安価にできると判断した。

問 四阿(あずまや)から休憩所に変更して新設するならば、契約変更ではなく新たな工事とするのか。

問 筋ではないか。
答 ある程度の面積と、必要な電気量を想定して計上している。

湘光中学校グラウンド改修工事

(賛成全員)

*令和2年8月27日議案第61号により議決を得た契約内容に変更が生じたため、請負金額の変更をするもの。

問 玉石が混入されていても残土とみなす県条例があるが適用されないのか。

答 50センチ以上の玉石が出たため適用外である。

問 もともと土砂検定基準に入る工事であるがなぜ契約変更なのか。
答 計上漏れであったため今回契約変更する。



改修中の湘光中学校グラウンド

選挙

南足柄市外五ヶ市町組合
議会議員の選出について

*任期満了となるため後
任の選出。

橋本 嘉之 氏
(新任 金子)

松田町外二ヶ町組合議会
議員の選出について

*任期満了となるため後
任の選出。

小島 孝 氏
(再任 金手)

清水 豊司 氏
(再任 金子)

大澤 健久 氏
(新任 西大井)

田村 俊二 氏
(再任 西大井)

第5回臨時会

10月20日に開催され、
補正予算、物品購入契約
の締結の議案を審議しま
した。

補正予算

一般会計

(第6号)(賛成全員)

*歳入は、県補助金と財
政調整基金の繰入を、歳
出は、新型コロナウイルス
又感染症緊急対策として
実施する事業と緊急性の
ある事業及び、県のイン
フルエンザ予防接種補助
事業による予防接種に係
る事業費を計上するもの。
問 以前の補正も含め、
地方創生臨時交付金を活
用しコロナ対策をしてい
るが、すべてこの交付金
で賄えるのか。
答 本町では、2億30
00万円余が交付金とし
て配分される予定。今ま
での補正予算額を足し上
げると、2500万円程
度が町の単独財源である。

問 コロナ対策で、トイ
レの洋式化が実施される
が、公共施設では、すべ
てのトイレが洋式化され
るのか。
答 学校施設については、
ほぼ100%洋式化され
るが、庁舎等については
和式を残しつつ、洋式ト
イレの比率を多くする対
策とした。

問 学校のトイレ改修の
実施時期は。
答 令和3年2月までに
は、終了したい。

問 修学旅行キャンセル
料補償金について、修学
旅行が中止に至った経緯
は。
答 小学校の修学旅行に
ついては、2市8町が1
つの団体として電車を
使って実施している背景
があり、本町だけではな
く2市8町の校長会等も
含めた中で判断した。

問 キャンセル料の内容
は。
答 旅行会社の企画料で
1人当たり1100円で
ある。

問 修学旅行が中止と
なった後の代替の行事は、
小学校独自で決めるのか。
町としての方針をもって
行われるのか。
答 基本的にはそれぞれ
の小学校で検討する。



教室に配備された大型モニター

問 インフルエンザ予防
接種事業費について、町
独自の施策に高校3年生
も対象とすべきでは。
答 高校3年生について
は、就職等している方も
おり、受験生という部分
では、15歳に絞って対象
とした。

問 周知の方法は。
答 町広報、ホームページ、
フェイスペインク等で
周知する。
問 今回の予算で、町独
自の対象者を何人分を見
ているのか。
答 対象者の7割程度が
任意接種を受けると想定
しており、1390回分
を計上している。

物品購入契約の締結

大型モニター購入
(賛成全員)

*指名競争入札の結果、
株アンドーデンキが41
7万3048円で落札し
たため、契約締結の承認
を求めるもの。

問 予定価格75.2万円
に対して、契約金額が4
17万円、落札率が55%
であるが、仕様書等に問
題はなかったのか。
答 この仕様書等の内容
で、株アンドーデンキが
納品できるということで
問題はない。

問 学校内での台数の内
訳は。
答 既に学校に配備して
いるものもあり、今回で
普通教室にはおおむね設
置できる。



審議結果

審議した議案と審議結果

○は賛成 ×は反対
 -は採決に加わらなかった議員
 清水豊司議長は、採決に加わりません。

臨時会・ 定例会の別	議案番号	議案名	議員名（議席順）と 審議結果											審議結果		
			大石舞	黒岩陣太郎	重田有紀	和田紀昭	山崎真弘	岡田幸二	鈴木武夫	鈴木磯美	田中正彦	田村俊二	牧野一仁		清水亜樹	伊藤奈穂子
第5回臨時会	65	令和2年度大井町一般会計補正予算(第6号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	66	物品購入契約の締結について (令和2年度 大型モニター購入事業)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
第4回定例会	67	専決処分の承認について (大井町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例)	×	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	可決	
	68	大井町第6次総合計画について	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	
	69	大井町議会議員及び大井町長の選挙における選挙運動の 公費負担に関する条例について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	
	70	大井町税条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	
	71	大井町諸収入金に対する督促料及び延滞金徴収条例及び 大井町後期高齢者医療に関する条例の一部を改正する条例 について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	
	72	大井町国民健康保険税条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	
	73	大井町道路占用料徴収条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	
	74	大井町下水道条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	
	75	足柄上衛生組合格約の変更について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	
	76	大井町山田総合グラウンドの指定管理者の指定期間の変更 について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	可決	
	77	令和2年度大井町一般会計補正予算(第7号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	
	78	令和2年度大井町国民健康保険特別会計補正予算(第3号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	
	79	令和2年度大井町後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	
	80	令和2年度大井町介護保険特別会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	
	81	令和2年度大井町水道事業会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	
	82	令和2年度大井町公共下水道事業会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	
	83	工事請負契約の変更について (令和2年度(仮)大井中央公園整備工事)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	
	84	工事請負契約の変更について (湘光中学校グラウンド改修工事(令和元年度繰越事業))	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	

障がい者を対象とした募集、採用を考えているのか

【答】 会計年度任用職員の活用など 計画的・積極的な採用を検討する

清水 亜樹 議員



問 本町の障がい者雇用率は。 **答** 本町の障がい者雇用率は2.45%であり、法定雇用率2.5%を若干下回っている。

問 今後、障がい者を対象とした募集、採用を考えているのか。 **答** 今後、障がい者を対象とした募集、採用を考えているのか。

総務課長 来年3月に法定雇用率が上がることもあり、障がい者の特性に



福祉的就労施設で作業している様子

応じた仕事の選定や創出を行い、会計年度任用職員制度の活用、また場合によっては障がい者枠といった考えも含め、計画的・積極的な採用を検討する。

問 現在、本町には就労継続支援B型事業所が1箇所しかないが、どのように考えているのか。 **福祉課長** 積極的に整備誘導を進めるまで、需要がひっ迫した状況にないと感じている。施設整備の話があれば、支援をしていく。

問 町内の企業、事業者等に障がい者の就労の啓発をすべきと考えるが。 **企画財政課長** 今後、企業懇話会などで働きかけなければと考えている。

問 障がい者就労施設からの優先調達について、取組みを進めているのか。 **福祉課長** 少し足りないのと反省している。町全体で進めていかなければと感じている。

問 優先調達の実績公表ができていないが。 **福祉課長** 今後、速やかに実績を公表する。

人口減少下での自治会加入推進と活性化の方策は

【答】 より一層、重きを置いて取組んでいく



岡田 幸一 議員

問 町にとって自治会とは。 **答** 町にとって自治会とは。町にとって自治会とは。町にとって自治会とは。

町長 自治会は地域を支え合う組織であり、町と相互に連携・協力して課題に取り組む、重要なパートナーと捉えている。町民が自治会に参加することで、町民主体の地域づくりへとつながり、今後の町の発展が実現できると考えている。

問 自治会加入率を上げていく方策は。 **答** 自治会加入率を上げていく方策は。自治会加入率を上げていく方策は。

協働推進課長 転入時や広報おおいでの自治会長紹介に加え、今年はマスク配布時に加入促進をした。今後もこのような啓発活動を中心に行っていく。

取組んでいく

問 震災等発災時に自治会が担う役割は。 **防災安全課長** 発災時は自主防災での安否確認をお願いしており、昨年の防災訓練で重点項目にした。その際、自治会未加入者の対応が課題となったが、その点からも自治会加入を促進していく必要があると感じている。

問 自治会を維持・活性化していくことに必要な事は。 **町長** 自治会活動に関する相談等に対応するため、協働推進課内に自治会活動サポートセンターを設置し地域



コミュニティの再生・活性化に向けた取組み (神奈川県)

課題の把握に努めている。自治会担当職員がパイプ役として地域巡視等を行う等、人的側面からも活性化に向け取組んでいる。

【公園・緑地の整備】 **問** スポーツ施設を備えた公園・緑地の整備の考えは。 **副町長** スポーツ推進全体で考えると、山田総合グラウンドや学校等のグラウンドを利用することで、新たにスポーツ公園等の整備計画は考えていない。

災害時の救急医療対策・救急医薬品の管理は

答 検討・調整進行中

山崎 真弘 議員



問 防災倉庫における備品等今後の整備予定は。
町長 町では(仮)大井中央公園内に大型備蓄倉庫の建設と飲料水の確保供給を目的とした飲料用水兼耐震性貯水槽の整備備蓄品の増備や協定締結の検討を進めている。
問 新型感染症に配慮した避難所運営及び救護体制等の取組みは。



災害時防災医薬品保管庫

町長 コロナ禍における避難所運営の基本方針・必要な物品等の整備などが作成したガイドラインに準ずる形で進めており、医療関係機関との適切な情報共有を図った中で連携、実施していく。
問 災害時の救急医薬品の備蓄管理は。
防災安全課長 救急医薬品については使用期限等の管理や廃棄などが課題であり、安定的な医薬品確保の観点から地元薬剤師会等との協定事例もあり、現在検討・調整を進めている。
【町の経済対策は】
問 町独自の小規模事業者支援制度は。
町長 新型コロナウイルスが長期化したことに伴

い持続化給付金の給付を受けた事業者も対象とすることとした。
問 支援制度の申請期間延長は。
地域振興課長 支援金等給付金の申請期間は令和3年1月15日までとしているが大井町の状況を見たと柔軟に対応していきたい。
問 財源確保のため企業誘致等の町として見解は。
町長 酒匂川周辺の産業系土地利用ゾーンをはじめとして既存の産業用地への誘致、新たな企業用地となり得る候補地の選定等に関しては自然環境に配慮し、計画的な土地利用の検討を進めていきたい。

「いこいの村あしがら」の今後は

答 施設の存続を第一に

民間譲渡に向けて調整

鈴木 磯美 議員



問 「いこいの村あしがら」の今後について、町としての考えと現在の対応は。
町長 大変重要な施設と考え、本課題の対策のため「いこいの村あしがら対策会議」を設置し、施設の存続を第一に民間譲渡を含め、県と連携し調整していく。
問 避難所の見直しは。
町長 当面は、現状施設を利用し、変更する場合は、早期に対応を図る。
【ハザードマップ見直しについて】
問 ハザードマップ見直しの進捗状況は。
町長 川音川浸水想定区域は告知されているレッ

ドゾーンの指定を待つ令和3年度中にポスター版を完成させたい。
問 レッドゾーン指定により、町民への対応は。
町長 避難に対する考え方を理解してもらう必要がある、周知を徹底する。
問 上大井小学校南棟に備蓄倉庫を設置する考えは。
町長 一時的に避難する施設のため、設置は考えていない。



35年の歴史に幕を下ろした「いこいの村あしがら」

【スポーツ施設におけるナイター照明設備について】
問 湘光中ナイターの利用状況は。
教育長 閉鎖期間を無くし年間利用としたが、ここ数年変わらない。
問 湘光中ナイター照明設備の改修計画はあるか。
教育長 改修の必要性は感じているが総合的に判断し検討する。
問 山田総合グラウンドに照明設備を整備する考えは。
町長 利用者のニーズや費用対効果等総合的に判断し考えていく。

GIGAスクール構想の今後の展望は

答 令和2年度中に整備を進める

和田 紀昭 議員



問 1人1台パソコン配備により町は4600万円の予算でソフトウェア購入を行ったが小学校低学年でも使いこなせるのか。

教育総務課長 キーボードとタブレットを切り離せるので使いやすい設定となっている。個々のレベルとペースで取組むこ

とができるドリルも導入している。それぞれの学年にあった授業が展開できると考える。

問 教職員のサポートは、すでにタブレットを配布し使い方の研修を開始している。

教育総務課長 教員には

問 デジタル教科書は導入するのか。

教育長 指導者用教科書は1科目導入済、中学校は現在検証中。生徒用は前向きに検討する。

問 文科省によるデジタル教科書配備に関する補助金の獲得意欲は。

教育長 是非獲得したいが検討する。

【生活支援整備事業】
問 買い物ツアーの改善点は。

福祉課長 乗り降りの補助、荷物の運搬、個人宅への送迎などが改善点だった。

問 是非、素晴らしい企画なので、移動販売車との併用で発展してほしい事業、だが今後は。

福祉課長 現在は移動販売の実現性が高く併用は難しいと考えるが意見は尊重する。



タブレットで授業をする様子

令和3年度予算編成における

町税等の歳入見込みは

答 リーマンショック時を上回る規模での
税収悪化を予想



田村 俊二 議員

問 コロナ禍における町独自の支援策のあり方は。

町長 感染拡大防止と社会経済活動の両立を図るための効果的な事業について実施していく。

問 幼児教育再構築の構想は。

町長 待機児童、園児数減少に対し、子育て健康課、教育総務課でそれぞれ行っていたが、本年度「大井町立幼稚園・学校のあり方検討委員会」を立ち上げた。少子化の進展に伴い総合的に検討していく。

問 地域公共交通の構想と課題は。

町長 町民、交通事業者、関係団体アンケート調査、

(1)協働プロジェクトの推進(2)持続可能な生活環境の整備(3)教育・子育て環境の充実(4)地域特性を活かした産業の創出と魅力の発信である。

【ICT活用・GIGAスクールの取組みは】
問 今後の課題と取組みは。

教育長 各学校のハード面の整備は概ねできた。端末、ソフトの操作、授業方法に関する知識、教員間の格差解消、子どもの学びの保障と教育の機会均等などを確保していくことが課題である。

問 第6次総合計画での重点取組みは。

町長 第6次総合計画の基本計画に示している。



大井町地域公共交通会議で議論されている「ふれあい悠悠バス」

災害時ペット同行避難所のあり方は

答 課題はあるが 今後取組んでいく

黒岩 陣太郎 議員



問 ペット同行避難所における課題は。
防災安全課長 地震を想定した場合、避難所の外での係留等が可能だと思われるが、風水害時は室内でどういったところにペットを置くことが出来るかあらかじめ施設管理者と調整しながら場所を決めていくという対策が必要である。
問 指定避難所における受入れ場所は。



ゲージに慣れさせる様子

防災安全課長 学校施設等の昇降口という話もあったが、最初に使わせてもらう場所になってくるのかと思う。現に昨年の台風19号が襲来してペット受入に困った市町村も多いと認識している。まずはそこから相談させてもらう。
問 町内に2か所のショッピングモールが一時避難場所として民間企業との連携も出来るのでは。
防災安全課長 確かにそういった近隣の自治体もあるが本町においては原則徒歩での避難を呼びかけている。現状調整は難しいが、まずは指定避難場所の受入を前提とし段階を踏み協定を視野に入れている。
問 今後の取組みは。
生活環境課長 9月の広報にも掲載したが飼い主の責務も重要と考えている。そして、事前の準備として、ペットのしつけの管理。それとペット用の避難用品の備蓄も必要とされる。今後も広報やホームページを通じて町民に啓発していく。
問 同行避難の避難訓練の予定は。
防災安全課長 現時点ではペット同行避難のあり方がしつかり整っていないのが現状で、まずは骨格となる受入態勢をしつかりと準備していずれは訓練も視野に考えていきたいと思う。

学校図書館の活性化は

答 来年度より学校司書を配置



伊藤 奈穂子 議員

問 読書活動の推進として小中学校の学校図書館に学校司書の配置は。
町長 来年度より学校司書を配置することで学校図書館の活性化を図っていく。
問 どのような体制を考えているか。
教育長 各学校週2日で2人を予定している。
問 学校図書館の蔵書をデータベース化し町図書館との連携は。
生涯学習課長 令和5年の更新切替時に検討できればと考える。
問 セカンドブック事業の取組みは。
子育て健康課長 生涯学習課、図書館等とも連携

した形で事業展開できるか検討する。
問 ファミリー読書デーの推進は。
生涯学習課長 大井町第三次読書活動推進計画の策定を期に推進を図る。
問 町図書館にL1ブック、デイジー図書等の導入は。
町長 L1ブックは今年度購入し貸出し準備を進めていく。デイジー図書

は今後、リクエストがあれば購入を検討する。
問 電子書籍の導入は。
町長 コストの面から導入の予定は無い。

【介護予防事業の充実】
問 「おーい！元氣会」を支えるサポーターの負担軽減のため、体操だけでも町と役割分担ができないか。
福祉課長 今後サポーターの方々と検討していく。
問 介護ボランティアポイント制度の見直しは。
町長 若い世代の人材育成としてボランティアポイント制度の対象を64歳以下に拡大する事も1つだと考えている。



図書ボランティア活動中 (大井小学校)

就学援助制度を、必要とする家庭へ行き渡らせるには

答 広報を改善しすそ野を広げる努力を行う

大石 舞 議員



問 就学援助制度は他自治体と比べ利用率が低く、不認定率は高いのではないかと。教育長 自治体の差であり一律に低いとは言えないが、広報の仕方に課題がある。今後すそ野を広げる努力をしたい。

問 認定の際、自営業者等の「所得」を給与所得者の「収入」に換算している。他自治体のように



対象家庭に補助される就学援助制度

所得で判断すべきでは。教育長 平成26年まではそうしていたが、生活に困窮していなさそうな家庭も対象になった。担当者間や近隣自治体と協議する中で変更した。

問 保護者通知に交付額や、認定基準となる収入の目安額を示したらどうか。教育総務課長 交付額は載せるよう調整中。収入目安額は近隣の町でも行っている。今後検討していく。

【待機児童問題、保育園について】

問 待機児童問題について今後の取組みは。町長 幼稚園・学校のあり方検討委員会が様々な意見伺い、対策・検討していきたい。

問 副食費を引き下げ、町として徴収してはどうか。町長 昨年度始まったばかりなので、変更は考えていない。

問 紙おむつの園での回収・廃棄は。町長 子どもの健康管理のため持ち帰りは必要。収納場所・衛生面で課題があり、変更は考えていない。

問 午睡用ベッド導入か。布団乾燥を委託する考えは。町長 午睡用ベッドは、現段階は考えていない。布団乾燥は保護者の費用負担など、課題を整理していく。

パートナーシップ制度導入は

答 来年度内導入に向けて

検討している



重田 有紀 議員

問 パートナーシップ制度は来年度内に、スタートという認識で間違いないか。協働推進課長 その方向で検討している。

問 要綱、条例、どちらで設置するのか。協働推進課長 要綱で設置する。

問 要綱設置の際、町民が要望を伝えることは可能か。協働推進課長 パブリックコメントを実施したい。

問 不要な性別記載等がある行政書類見直しは。協働推進課長 各課で、性の多様性、人権の尊重について配慮は必要であり、取りまとめは当課で

していく。

問 制度導入はゴールではない。今後県西地域でも広がっていくよう、町長自ら周知徹底すべきと考えるが。町長 全くそのように思う。

【不登校状態にある児童生徒への対応について】

問 当該児童、生徒の通う「適応指導教室」、名前に違和感を覚えるが。

教育長 今まで問題提起がなかったため、今後検討する。

問 文科省発出の「不登校は問題行動ではない」という認識を、地域全体で共有するには。教育長 自身や当該児童、生徒周辺の職員は認識しているが、一方で、ご家庭では心配されている部分もあると思うので、共通の認識を図っていきたい。

問 一人一台端末の利用は。教育長 当然配備する。貸出ルーターで対応する。

問 引取訓練の実施は。教育長 していない。必要性が話題になったことがないが状況によって考慮していく。



世田谷区ホームページよりパートナーシップ宣誓書

町の次期総合計画に夢はあるか

答 堅実に実行する

鈴木 武夫 議員



問 町の第5次総合計画の主な施策と成長戦略は計画通り推進したか。
町長 概ね予定通りに進んでいる。
問 町の第6次総合計画（令和3年～12年）の主な施策は何か。
町長 4つの戦略事業だ。①協働プロジェクトの推進②持続可能な生活環境の整備③教育・子育て環境の充実④地域特性を活かした産業の創出と魅力の発信。



次期総合計画で改修予定の町施設

問 令和3年度の歳入の見込みと、新型コロナウイルス感染症に町独自の対策はあるのか。
町長 今までに経験したことのない事態だ。経済は悪化している。これから、予算と施策を決める。11月に閉鎖した「いこいの村あしがら」を町が買い取り、（一社）神奈川大井の里体験観光協会に、管理・運営を任せたらどうか。
町長 県の動向を見ながら検討する。
問 人口減少と財政の厳しい中、市町村合併の考えはあるか。
町長 市町村合併の考えはない。
問 近隣の市町では新型

コロナウイルス感染症対策で、水道料の基本料金を4か月間無料にしている。町は実施しないか。
生活環境課長 町は実施しない。
問 新型コロナウイルス感染症対策として、町は基金を使い町民に一人5万円か3万円の給付金を配つたらどうか。
町長 検討をしない。
問 今回、備蓄用マスクを町民に配ったが、家計への支援は町民に支援が公平にもれなく行き渡り、利用しやすい支援策でなくてはいけない。町の考えは。
子育て健康課長 7割以上は必ず町民の手に届くと思込んでいる。

耕作放棄地対策の現況と今後は

答 担い手不足解消策を

引き続き講じて行く

田中 正彦 議員



問 耕作放棄地や遊休農地が散見され農業の危機と思うが、その対策は。
町長 「人・農地プラン」を作成し、地域農業の在り方、集落営農、農業法人などによる経営の複合化や6次産業化について話し合いをしてきた。現在まで、1経営体と各農業者へ農地を集積してきたが、今後は、人・農地プランの実質化に向けて、具体的な計画を策定するとともに「農地中間管理機構」を活用しながら広域的に農地の借手を探すよう努めていきたい。



数年前は水田だった

問 町主導による「農業生産法人」を立ち上げる考えはあるか。
町長 現在のところその考えはない。
問 6次産業化推進
町長 大井町まち・ひと・しごと創生総合戦略の中で「農業の担い手育成と6次産業化、商工業との連携支援」と謳っている

が、どのような具体策を講じ、その成果と反省は。
町長 農業の担い手確保に向けた取組みについては、JAや地域の営農団体との連携、県等が推進する各種制度を活用し、支援体制を確保してきた。又、地元農産物を使用した商品開発への支援等、6次産業化にも力を入れてきた。しかしながら、農業従事者の高齢化等の課題は、こうした取組みだけでは補えないほど急速に進んでおり、現在の施策の成果については、一定の評価はしつつも、さらなる担い手確保の取組みをスピード感を持って推進する必要がある。

各委員会の活動方針を決定

企画経済常任委員会を始めとする4委員会は、向こう2年間の活動方針を決定しました。今後、各委員会において、調査・研究を行っていきます。

企画経済常任委員会

1. 有害鳥獣対策について

野生鳥獣による農作物の被害は、本町においても例外ではなく、営農意欲の減退ともなっており、数字に表れる以上に深刻な影響を及ぼしている。関係団体と意見交換や現状調査を行い、より良い対策を調査研究し町に提言していく。

2. 町の活性化における土地利用について

少子高齢化が進み、本町においても農地や空き地の荒廃が進み大きな問題となっている現状で、現状把握を進め、中・長

期的な問題であるが、町の活性化につながるよう調査・研究をしていく。

教育福祉常任委員会

1. 高齢者、障がい者の社会参加について

団塊の世代が75歳以上となる2025年を目前とし、また障がいを抱える方が増加している中で、高齢者や障がい者が住み慣れた地域で健康でいきいきと、その人らしく暮らすためには就労や地域活動などの社会参加が大切である。本町において、高齢者、障がい者の社会参加の現状や支援の状況を調査し、より良いあり方を研究して、町に提言していく。

2. 特色ある学校づくりについて

本町の小学校、中学校の学力や学習支援、また今年度で5年目を迎える

相和小学校の小規模特認校制度導入後の現状を把握した上で、学力向上の取組みや、特色ある学校づくりを研究し、より良い学校教育のあり方を調査・研究していく。

広報広聴常任委員会

【広報分科会】

1. 議会だより紙面の刷新について

町民目線で読みやすく、分かりやすい紙面づくりを基本に、読んでみたくなる議会だよりとなるよう、表紙の見直しや掲載記事の内容を精査し、更には新規コンテンツの検討等、より良い紙面づくりに取組んでいく。

2. ホームページの充実について

前期において、本会議の議事録を掲載するなど掲載内容の拡充を図って

きたが、今後は町民にとって十分な内容になっているかを検証し、更なる充実に取組んでいく。

3. SNSによる情報発信について

SNSについては検討を重ねてきたが、人材育成の面からも課題があり進展が無かった。改めて、運用方法や人材育成について調査研究し実施に向け取組んでいく。

【広聴分科会】

新しい議会広聴のあり方について

これまで町民との意見交換会に重点を置き開催してきた議会報告会だが、内容のマンネリズムが課題となっている。

今後、新しい発想で方法や内容を検討し「開かれた議会、町民の皆様と共に歩む議会」をめざし、より良い広聴のあり方を調査研究していく。

議会運営委員会

議会運営委員会は、議会を円滑かつ効率よく運営するために、定例会・臨時会の会期日程や会議規則、委員会に関する条例など、議会運営全般にかかわる事項及び議長の諮問に関する事項の調査研究に取組んでいく。

1. 議会運営に関すること

2. 先例集の見直しについて

3. 議長からの諮問について

10月、議長より令和3年4月1日施行を目的に「(仮称)大井町議会一般会議実施要綱の策定について」の諮問があった。策定に向けて、優先して調査検討していく。

議員研修報告

足柄上郡町村議会議長会議員研修会

インターネット問題

〈SNS活用術〉

講師 神奈川弁護士会

齋藤 宙也 氏



11月4日、足柄上郡町村議会議長会主催による議員研修会が、大井町役場にて行われた。本年度は、コロナウイルス感染症拡大予防対策として、各町議会において分散開催となった。

講師は、神奈川弁護士会、出田・齋藤法律事務所、齋藤宙也氏をお招きし、講演テーマはインターネット問題、サブテーマとしてはSNS活用術であった。

内容は、SNS活用術というよりはSNSと法律と言ったほうが解りやすいかもしれない。そもそもSNSとはLINE、Facebook、Twitter、Instagramなどが代表的だがブログ、動画投稿サイト、ソーシャルゲームなども含まれ我々議員もインターネットを使った選挙運動ができるようになり、日々の活動もSNSを利用して町民の皆様へ報告しているものも多い。しかし、簡単に対世界的に公開できるものであ

る反面、法的な問題が発生する事実もある。

誹謗中傷、名誉棄損、侮辱、プライバシーの侵害、守秘義務、不快差別用語、他者の表現の自由などが主に問題視されており、肖像権、著作権についても法的問題がでてくる。さらに、子供のいじめ問題に至っては一番注意しなければいけない問題である。

SNSを使うすべての人間がモラルを持ち、他人を思いやる心を持つこと、またそれを、子供たちへ指導していくことでしか、この問題は解決できないというのが私の見解である。

便利であるからこそルールが必要であり、我々議員も今回の研修で自分たちの行動を見直し、そして皆様に広めていく活動をするをお約束し報告とする。

(和田 紀昭)

「一般会議」を開催しました！

議会では、議会基本条例の規定に基づき、町民と議員が自由に意見や情報を交換するため、一般会議を開催しています。この度、教育福祉常任委員会において「かざみどりの会」と「おうママの会」の方々にご参加いただき、多くの意見を伺うことができました。ありがとうございました。



◎かざみどりの会

日時 令和2年11月11日(水)
午前10時～
場所 大井町役場301会議室
テーマ 障がい者の生活と社会参加

◎おうママの会

日時 令和2年12月11日(金)
午後12時45分～
場所 大井町役場301会議室
テーマ 保育園・幼稚園の運営
保護者との関り方

町のこの人あの人

大井町に転入し、露地野菜で新規就農



篠窪地区
おかもと 豊司さん

篠窪で露地野菜の栽培に取組んでいる岡豊司さんを紹介します。

●岡さんは兵庫県生まれ育ち、神奈川県にある農業大学を卒業後、縁があり大井町に移り住むことになり、昨年、新規就農されました。

●大井町に転入したきっかけは、農業大学で知り合った友人が大井町在住で、その方の圃場を見学したり、地域を紹介してもらい興味をもったのがきっかけとのこと。その後、

役場の地域振興課職員や、神奈川県大井の里体験観光協会の方々と紹介され、農業体験を通じて自然豊かな里山の魅力を知り、自分自身も農業の魅力を伝えたいと思い、新規就農しようと決心されたそうです。

●以前、飲食店で調理の仕事をしていた時、農家から直接野菜を仕入れており、採れたての新鮮な野菜のおいしさに感動して農業に興味を持ったとのこと。

野菜について勉強し、自ら農業体験をする。とで、自然と共に仕事ができる農業に更に魅力を感じ、本格的に勉強するため、農業大学に通われたそうです。

●現在、篠窪で約30アールの農地を借り、少数多品目で年間40種類の野菜を栽培しています。現在は、農協の直売所などを中心に出

荷しては、地元のスーパーや学校給食にも販路を広げ、地元の方にも新鮮な野菜を届けたとのこと。

また、調理の経験を活かし、美味しい野菜の食べ方なども提案していきたいそうです。

最後に、農業体験を通して農業や大井町の里山の魅力も知ってもらおう活動もしていきたいと話されました。

39歳独身、一緒に土いじりをしてくれるお嫁さん募集中です。

毎日、富士山を眺めながら畑仕事をする岡さん



毎日、富士山を眺めながら畑仕事をする岡さん

議会傍聴についてお願い

新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として、傍聴席は間隔を空けて使用するため、傍聴人数に限りがあります。また、次の注意事項にご協力ください。

- ・体調がすぐれない方、37.5度以上の熱がある方は、傍聴を控えてください。
- ・受付時には手指の消毒をし、マスクの着用にご協力ください。

編集後記

昨年の町議会議員改選後、新メンバーで一から作る議会だより。新しい風が吹く中、期待と不安でスタートしました。改選後、初めての定例会には、12名が一般質問に立ち活気が感じられ、今後が非常に期待されます。長引く新型コロナウイルス感染症の影響を受け、町の財政状況も一層厳しさを増すものと懸念されます。議会も町と協力し、まちづくりの一端を担い、今後も積極的に取組んで参ります。議会だよりも皆様に身近に感じて頂けるよう見やすく、分かりやすく正確な情報をお届けできるよう取組みます。

鈴木 磯美

広報広聴常任委員会

(広報分科会)

- | | |
|------|-------|
| 委員長 | 伊藤奈穂子 |
| 副委員長 | 清水 亜樹 |
| 委員 | 鈴木 磯美 |
| 委員 | 山崎 真弘 |
| 委員 | 和田 紀昭 |
| 委員 | 黒岩陣太郎 |
| 委員 | 大石 舞 |